

## 世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2023 - 「駅前サロン」活動報告

(2016～2023年度 大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業)

多摩大学経営情報学部梅澤ホームゼミナール

岩田柚菜、大谷彩花、陸彩菜、近藤海優、齋藤純白、徳永賢人、中村優貴(4年)

雨宮永大、上江洲安輝、大串慶斗、近藤直希、清水寛太、鈴木達也、徳常生吹、酉田凌馬、堀勇斗(3年)

### はじめに

日本は総人口、高齢者人口共に減少に向かう一方で、高齢者の総人口に占める割合は29.1%(令和5年5月総務省)と過去最高を更新し続けている。総人口の3割を超える高齢者が住み慣れた地域や住まいで、尊厳のある自立した生活を送ることが出来ることを目的に、厚生労働省は地域包括ケア・システムの構築を推進している。このような高齢社会の現状を踏まえ、行政・地域からゼミへの要請もあり、私たちのゼミは高齢者の健康寿命の一助となることを目的とした高齢者サロン(通称:駅前サロン)を8年間にわたり継続実施してきた。今回は、今年度の取り組みと今後の展望を報告するものである。

### 1. 世代間交流 駅前サロンについて

サロンは地域包括ケアの実現に向けて中核的な機関であり、高齢者の総合相談窓口を担う地域包括支援センター、民生委員、有志との連携・協力のもと、学生たちが中心となって企画・運営している。JR・京王八王子駅から徒歩5分の施設を利用して毎月第4木曜日午後90分のサロンを実施。駅前サロンの特徴は“世代間交流”と“ゆったりとした交流の場”である。

2016年に開始した駅前サロンは、新型コロナウイルス感染症により、2020年1月を最後に休止となったが、2021年秋にオンラインで再開させた。2022年春からは、人数制限を行うなどコロナ対策を徹底して実施。2023年5月から完全対面に戻し、1月25日に56回目の駅前サロンを実施した。

### 2. 2023年度の活動成果

今年度も10回の活動を実施した。今年度は、タイムスケジュールの見直し、連携団体の皆様も含めた全員参加のレクリエーションを実践した。在宅が多く、会話する機会が減ってしまった参加者にとって、「ご歓談の時間」はたいへん好評である。その時間をより充実したものにするため、様々な議論を重ねた。ご歓談の時間のグループを学生1名に対して参加者1～3名と少人数にすること、当月の「駅前サロン通信」に動画を掲載している学生が参加して動画を一緒に観ながら、動画の内容を切り口に対話を深めること

等である。そのことによって良い雰囲気づくりができ、更にその後に「ご歓談の時間」を持ってきたことで結果的に交流を充実させることができた。レクリエーションに関しては、ご歓談とプログラムの順番を入れ替えるようにしたことで運営側と参加者側の距離を縮めることに成功した。身体を動かす運動や頭を使う伝言ゲーム系、お玉リレー等、誰もが参加できるよう工夫して企画・運営している。

また、コロナが5類に移行したことから「合唱」を再開した。「ふるさと」や「明日があるさ」など世代の垣根を超えた歌を選曲し、歌詞はPPTを用いて紹介。ウクレレ伴奏などもある。これらの取り組みによって、一体感のある笑いの絶えないサロンになっている。参加者数は回を重ねる毎に増え続け、現在は25～30名となっている。



### 3. 今後の展望

今後は男性参加者を更に増やしたい。男性高齢者の孤立化という課題を解決することが大切だと感じたからだ。そのため、「駅前サロン通信」に QR コードを付け、駅前サロンの様子を動画で紹介するようにして対応している。

### 謝辞

長年にわたり本プロジェクトにご支援、ご協力頂いております八王子市高齢者あんしん相談センター旭町(=地域包括支援センター)、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員・協力員、有志、大学コンソーシアム八王子、八王子市高齢者いきいき課の皆様にご心よりお礼申し上げます。

また、今年度連携させていただいている JR 東日本八王子営業統括センターの皆様にお礼申し上げます。